



みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第19弾として、公園分野の業務内容を、近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所調査設計課宇川課長（入省6年目）より語っていただきました！



宇川課長（入省6年目）

1. 公園分野の業務の国交省における役割を教えてください。

日本全国には、都市公園（一般的には遊具や運動場、花畑などがある「街の公園」をイメージしてもらえればわかりやすいです）が約10万箇所あり、国民の憩いや遊びの場、健康づくりの場、防災を担う場、また環境を守り豊かにする場として機能しています。

ほとんどの都市公園は地方自治体が整備・管理していますが、国交省としては「都市公園法」を所管する立場から全国の公園の今後のあり方を示し、自治体の公園整備や再編の支援や利用促進に関するアドバイス、安全基準のとりまとめなどを行っています。

さらに、国交省が直接整備・管理する「国営公園」が全国に17箇所あり、大規模なネモフィラ畑や音楽フェスで有名な「国営ひたち海浜公園」のように数百ha規模の広さを活かし多様なレクリエーションの場を提供したり、首里城を有する「国営沖縄記念公園」や私の勤務する「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園」のように国の歴史・文化に関して重要な資源を守ったりしています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

本省では、少子高齢化等の社会の変化に対応しながら、全国の公園がより存在価値を発揮できるよう、様々な取組への支援や制度づくりが行われています。例えば民間活力を活かして賑わいある空間となるよう、カフェやレストランを公園内に民間事業者が設置しやすくなる制度改正が3年前に行われ、普及啓発に取り組んでいます。また、個別の国営公園ではそれぞれのテーマに沿って整備や利用者のための改善が続けられています。例えば首里城の再建に向けて国営沖縄記念公園では着々と準備が進められていますし、今私が働く国営飛鳥・平城宮跡歴史公園では、奈良時代の都にかつて存在していた歴史的建物の復原事業が進められています。



歴史公園の平城宮跡区域で行われた木曳祭（左）と、大極殿院南門復原工事（右）

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

公園事務所での担当業務は大きく分けると維持管理と整備の2つに分かれます。前者では日々たくさんの方々が安全にかつ楽しんで公園を利用していただけるよう、維持管理業務の指導・監督を行っています。さらに、より公園を使ってもらえるように地元の自治体等と企画を考えたり、様々な広報活動を行ったりしています。また、イベントやロケーションなどの許認可も大事な仕事です。後者の「整備」は比較的長い時間をかけて将来の公園の姿を描く仕事です。今後の公園の整備を具体的にどう進めていくのかということについて、公園が地域で果たす役割、図面や予算、手続き等様々な角度から検討しています。国営飛鳥・平城宮跡歴史公園の場合、飛鳥区域と平城宮跡区域の両方で高松塚古墳、キトラ古墳、平城宮跡といった特別史跡を公園制度により保存・活用しているため、地元の奈良県や明日香村、文化庁などの関係機関の考えも伺いながら進めて行くことも大事です。

また、新技術を活用した利用促進や維持管理の効率化にも取り組んでいるところで、昨年度から民間企業にも参画してもらって、自動運転やドローン撮影、AIを使った画像解析といった社会実験を始めています。実施にあたっての手続きの調整や実験の方向性の検討も現在の重要な業務の一つです。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

苦労する点としては、働き方に関しては異動が多いこと、業務に関しては関係者が多く、それぞれと調整するのは手間もかかることでしょうか。これは一方で、住む場所だけでも1箇所にとどまらず多様な経験を積めることや、たくさんの人と知り合っただけで信頼関係を築くことができるというやりがいにもつながっています。多様な経験、というのは例えば本省にいる時には全国各地の情報に触れ、政策ができていく過程に携われる一方、事務所にいるときには、その政策を現場・生活者に近いところで実行する、というような全く異なる経験です。今いる公園の現場だと、楽しく遊んでいる利用者の笑顔を見て胸が熱くなる、ということもよくあります。また、私の場合は公園・緑地関係（造園）ですが、技術系の場合、採用された職種に関する業務を中心に経験を積むので、それまでに築いた知識や人間関係も利用しながら着実にステップアップしている実感が持っています。



5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省はインフラ整備を中心に政策立案・実行を担う組織として、幅広く人々の生活を支えています。これに自分の能力を活かして少しでも関わっていきたいという人はぜひ就職先の一つとして検討してみてください。大きな組織なので、各分野の政策を眺めてみたり、こうした場でたくさんの職員の声を捉えるのも、働くイメージを持つ上で役に立つと思います。試験がこれからの方はまずは紙の勉強もがんばってほしいですが、官庁訪問の面接でいかに自分を知らせてもらうか、ということも大事ですので、一度自分と向き合って何をしていきたいのか、考えておくとうれしいと思います。



歴史公園の飛鳥区域で行われる子供向けイベント（左）と、蹴鞠イベント（右）



飛鳥区域内（甘樫丘地区）の桜